



地方独立行政法人青森県産業技術センター

あおもりの未来、技術でサポート

畜産研究所ニュース

最新研究成果のご紹介。ぜひ現場で活用を (詳しくは酪農飼料環境部へ)

畜舎内の悪臭除去にはゴボウが利用できる！！

本県が生産量日本一を誇るゴボウを粉砕して得た「ゴボウ抽出液」に塩基物、塩化物を添加したオリジナルな「改良ゴボウ抽出液」は、アンモニアなど広範な悪臭成分を除去できることを明らかにしました。

「改良ゴボウ抽出液」の噴霧前後の悪臭物質濃度 (ppm)

悪臭物質	噴霧前	噴霧後
低級脂肪酸	4	検出限界以下
硫化水素	> 2	検出限界以下
アンモニア	18	5
アミン類	25	10



ニオイセンサーによる臭気指数が半減

酪農経営でやっかいな廃棄乳を手軽に処理できる固液分離機を試作！！ → 凝固器、濾過器にオイル缶を使用 材料費は2万円弱

投げ込みヒーターと攪拌機を具備



底板を切り取り円筒に。凝固部を濾材に残して濾過器を引き抜く方式で作業が楽に。



酸凝固した廃棄乳 (上のオイル缶)



濾液は極めて清浄



底に穴を空けてフロート弁を設置

脱水された固形物重量は34%に減 水分88%→65%に減



フロート弁を抜いて下のオイル缶に酸凝固乳を投入

こんな研究が進んでいます。(繁殖技術肉牛部)

一卵性双子による種雄牛生産 (双子検定の状況)

平成28年2月にバイテク技術で誕生した雄の一卵性双子のうち、肉質調査牛とした「優蒼」の肥育結果が本年8月20日に判明しました。



<双子牛> 平成28年2月24日生
 血統:「優福栄」×「安福久」×「平茂勝」
 名号:優青(ゆうせい):種雄候補牛 生時体重:41kg
 優蒼(ゆうそう):肉質調査牛 " :34kg



肥育場所:畜産研究所本所 肥育期間:29.8か月
 A-5 枝肉重量523.5kg
 BMS No.9 ロース芯面積73cm²

- 肥育期間が30か月以下にもかかわらず枝肉成績はA5 (BMS No. 9) で良好
- 種雄候補牛として待機している「優青」の凍結精液生産に着手
- 今後さらに「優青」の交配で後代検定牛10頭程度を確保→双子検定の精度を確認

飼料用米を利用した黒毛和種短期肥育におけるビタミンA剤の定期投与での肥育結果 (速報)

平成29~30年度に行った標記肥育試験の出荷成績が判明しました。飼料用米給与と27か月での短期肥育の条件下で、適度なビタミンA濃度の低下をもたらす「ビタミンA剤の簡易な定期投与技術プログラム」の開発が目的です。

肉の成分や経済性の分析などはこれからですが、定期投与I区で対照区とほぼ同等な成績が得られました。

試験区分	頭数	枝肉重量	ロース芯面積	BMS No.	格付け
定期投与 I 区	3	511	62.0	7.0	A5:1 A4:2
定期投与 II 区	3	499	62.7	5.3	A4:2 A3:1
対 照 区	3	505	65.3	8.0	A5:2 A4:1

供試牛9頭は全て「平安平」産子

(試験区の概要)

- 定期投与 I 区: 肥育中期 14~15 か月で 25 万 IU 投与、16~21 か月に 4 週間隔で 30 万 IU
- 定期投与 II 区: 肥育中期 14~15 か月で 35 万 IU 投与、16~21 か月に 4 週間隔で 40 万 IU
- 対 照 区: 肥育中期に頻回採血し、月齢に応じた理想値となるようきめ細かく投与

地方独立行政法人 青森県産業技術センター 畜産研究所

(和牛改良技術部)

〒039-3156

上北郡野辺地町字枇杷野51

TEL 0175-64-2231

FAX 0175-64-2230

〒038-2816

つがる市森田町森田月見野558

TEL 0173-26-3153

FAX 0173-26-3205

HP <http://www.aomori-itc.or.jp>

Youtube 公式チャンネル <http://www.youtube.com/user/aitcofficial>

畜産の技術について何かありましたらお気軽にご相談して下さい。